

INTERFACE OF PRAYING

祈りのインターフェイス展

八女福島仏壇仏具協同組合求評会

ブツマプロジェクト PRESENTS

ARTISTS in 仏壇

暮らしと祈りの「間」を考え直す

八女福島仏壇仏具協同組合内に発足した「ブツマプロジェクト」では、約4年間に渡り、生活と信仰の「間」について再考し、媒体としての仏壇のあるべきかたちを探ってきました。

リサーチを重ねる中で明らかになってきたのは、

- ① 仏壇は日常的に仏教儀礼(お祈り)を行うために現世と浄土を媒介するインターフェイスである
- ② 儀礼のためには本尊および須弥壇と三具足(花立・香炉・燭台)があればよく、仏壇はそれらを取りめる「箱」に過ぎない

という事実です。

そこで本展では、「最低限の形式を、最小限の形状に」をコンセプトに、組合が今年度の事業で開発した「一段仏壇」をアーティストに提供。仏壇を成立させる上で最低限必要な、本尊+須弥壇+三具足の創作をアーティストに依頼し、自由に仏壇の内部をかたちづくってもらいました。

個性豊かなアーティストたちによって解釈された「祈りのインターフェイス」たる仏壇を、ぜひご覧ください。

2022年 1月8日[土] — 1月11日[火]
OPEN 11:00-19:00 入場無料

BONUS TRACK GALLERY
東京都世田谷区代田2-36-15 BONUS TRACK内

ACCESS ● 小田急小田原線/京王井の頭線
「下北沢」駅下車、徒歩4分
● 小田急小田原線「世田谷代田」駅、徒歩5分

・八女福島仏壇仏具協同組合が考案した創作仏壇や、仏壇制作技術を学べる体験セットの試作展示も行います。

八女福島仏壇仏具組合求評会 福岡展のお知らせ

アクロス福岡 2階 匠ギャラリーにて開催
2022年1月26日(水)~1月30日(日)
10:00~18:00 ※最終日のみ10:00~16:00

2021年活路開拓事業 主催:八女福島仏壇仏具協同組合 企画:ブツマプロジェクト
八女福島仏壇仏具協同組合 〒834-0031 福岡県八女市本町2-123-2 yamebutsudan.or.jp 0943-24-3941 info@yamebutsudan.or.jp

三重野龍

1988年兵庫県生まれ。2011年京都精華大学グラフィックデザインコース卒業。大学卒業後、京都にてフリーのグラフィックデザイナーとして活動開始。美術や舞台作品の広報物デザインを中心に、ロゴやグッズなど、文字を軸にしたグラフィック制作を実践。現在までなんとか生き延びている。

@ mienoryu



キム・ソンヘ

シャンデリア・アーティスト。国内外の企業やブランドへの作品提供、空間ディスプレイ、プロダクトデザインを手掛ける。2016年には初となる作品集「TROPHY」を刊行し、ラフォーレ原宿で初となる大型個展「トロフィー」を開催。2021年には渋谷「PARCO MUSEUM TOKYO」にて「天国 - HEAVEN」展を開催した。

@ _kimsonghe_



たかくらかずき

3DCGやピクセルアニメーション、3Dプリント、VR、NFTなどのテクノロジーを使用し、東洋思想による現代美術のルール書き換えとデジタルデータの新たな価値追求をテーマに作品を制作。現在はおもに日本仏教をコンセプトに作品制作を行う。京都芸術大学非常勤講師。openseaで仏像NFTシリーズ「NFT BUDDHA」を展開中。

@ takakurakazuki



市原えつこ

メディアアーティスト。1988年愛知県生まれ。日本的な文化・習慣・信仰を独自の観点で読み解き、テクノロジーを用いて新しい切り口を示す作品を制作する。第20回文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門優秀賞受賞、総務省異能発掘探採。2018年、アールスエレクトロニカInteractive Art+部門にて栄誉賞を受賞。

@ etsuko_ichihara



KMNR™

2020年、佐賀県名尾地区において300年以上の歴史を持つ名尾手すき和紙の7代目・谷口弦を中心に結成されたコレクティブ。伝統的な手すき和紙の技術を用いることで、新たな文脈を持ったメディウムとしての「還魂紙」を生み出し、作品制作を行う。2021年11月には初となる個展「TIMESCAPE」を開催。

@ kmnrtm

